

たからづか都市計画マスタープランの見直し等について  
ニュースをお届けします！

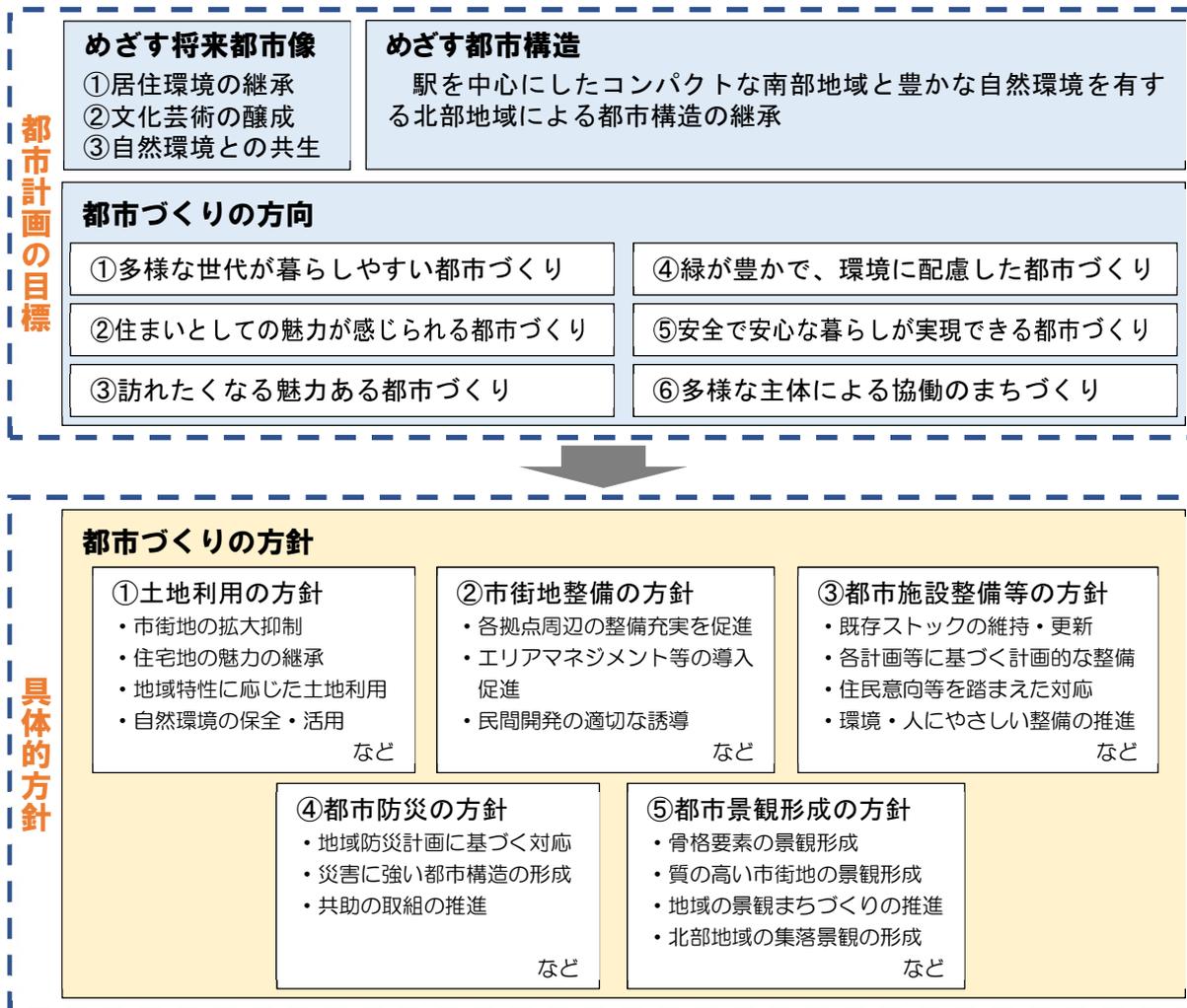
人口減少や少子高齢化が進展するなか宝塚市が魅力的な街として持続していくための都市づくりを進めるため、令和元年（2019年度）～令和3年度（2021年度）の3年をかけて新しいまちづくり計画の策定（たからづか都市計画マスタープランの見直し、（仮称）宝塚市立地適正化計画の策定）を進めていきます。

Vol. 03では、宝塚市都市計画マスタープラン及び宝塚市立地適正化計画の基本的な方針等をまとめた骨子について説明します。

## 宝塚市都市計画マスタープラン及び宝塚市立地適正化計画の骨子を策定しました。

### 宝塚市都市計画マスタープラン骨子について

宝塚市の現況や都市づくりの課題を踏まえて、都市計画の目標を設定し、これに即した具体的な方針を設定しました。



## 宝塚市立地適正化計画の骨子について

立地適正化計画の基本的な方針は、都市計画マスタープランに掲げる都市計画の目標の実現に向けて、居住機能や生活を支える都市機能の誘導の方向性を示しています。

「立地適正化計画の目標」では、居住や都市機能の誘導にあたって大きな方向性を示し、「誘導方針」では居住や都市機能をいかに誘導するか、その具体的な方針を示しています。

立地適正化計画の目標

### 目標

住宅都市として、+αの魅力があり、多様なライフスタイルが実現できる都市

趣味のつながり、身近な公園でのつながりなどが日常にある「交流・活動のある暮らし」

日常の中で文化・芸術に触れ、体感できる「文化・芸術が身近にある暮らし」



### 魅力的で多様なライフスタイルのイメージ



住まいの近くで働く、短時間だけ働くなど「柔軟に働く暮らし」

大阪などへ通勤する暮らしの中で便利に日常生活が送れる「都市的な暮らし」



誘導方針

#### ①宝塚の個性を生かした居住誘導

山麓部の落ち着いた住環境、文化や歴史が感じられる市街地、緑・農空間が点在するうるおいのある市街地などの宝塚の個性を生かした居住誘導を、災害リスクも踏まえた上で図ります。

#### ②地域特性に応じた都市機能の誘導による多様な空間の創出

郊外居住の文化や交通利便性、都市機能の集積状況、居住者のニーズなど、地域特性に応じた都市機能を誘導し、多様でかつ魅力的な空間の創出を図ります。

#### ③誰もが移動しやすい環境の形成

市街地内の様々な場所で、多様な活動が実現できるように、移動を総合的にとらえ、誰もが移動しやすい環境の形成を図ります。